

施工状況等報告書

2021 年 1 月 29 日

長野県知事 阿部 守一 様

佐久市長 柳田 清二 様
小諸市長 小泉 俊博 様
御代田町長 小園 拓志 様
軽井沢町長 藤巻 進 様

所在地 長野県佐久市上平尾 2033

名称 佐久市・北佐久郡環境施設組合
組合長 柳田 清二

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します

記

対象事業の名称	新クリーンセンター建設事業
報告対象期間	2020 年 10 月 1 日から 2020 年 11 月 30 日まで
環境の保全のための措置	詳細は別紙添付資料のとおり
対象事業の実施状況	建設地では、施設本体建設工事が竣工した。また、施設の試運転を終了し、本格稼働を開始した。 【施設本体建設工事】 各工区の仕上げ・まとめ作業、構内道路舗装等の各種外構工事を完了し、令和 2 年 11 月 30 日を以て全工区が竣工した。 【試運転】 令和 2 年 10 月 27 日から 29 日にかけて施設の引渡性能試験を実施した。令和 2 年 11 月 30 日を以て試運転を終了し、本格稼働を開始した。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間: 2020年10月1日～2020年11月30日

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植 物	ヤエガワカンバ	種子の 保存 及び 播種、 育苗	10月12日に播種個体の生育確認及び管理 1) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 事業実施区域内に移植したNo. ③、No. ④、No. ⑦の3個体は樹高78～225cm、根元直径12～27mm。No. ⑦は先端の枝が折れていたが（原因は不明）、生育に影響はないと思われる。 2) 平成28年4月18日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高45.5cm、根元直径13mm。黄葉が始まる。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 3) 平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高41cm、根元直径15mm。根元直径が大きくなった。黄葉が始まる。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 4) 平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理 ポット30個で育苗中の幼木は現在133本。樹高は25.5～42.5cm、根元直径は3～5mm。黄葉が始まり、冬芽を形成。生育状況に異常は見られない。	写真ヤエー 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
			11月9日に播種個体の生育確認及び管理 1) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 事業実施区域内に移植したNo. ③、No. ④、No. ⑦の3個体は樹高78～225cm、根元直径12～27mm。落葉したが生育状況に異常は見られない。 2) 平成28年4月18日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高45.5cm、根元直径13mm。樹高と根元直径に変化なし。落葉。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 3) 平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高41cm、根元直径15mm。樹高と根元直径に変化なし。落葉。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 4) 平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理 ポット30個で育苗中の幼木は現在133本。樹高は25.5～42.5cm、根元直径は3～5mm。樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。	写真ヤエー 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14
			10月12日に播種個体の育苗状況確認 1) 平成29年6月29日播種個体の生育確認 No. ③は樹高7cm、根元直径3mm。生育状況に異常は見られない。 2) 平成29年3月14日挿し木個体の生育確認（発根促進剤使用） No. ⑰は樹高25cm、根元直径6mm。黄葉が始まる。 3) 平成31年3月8日挿し木個体の生育確認（発根促進剤使用） 個体No. ②は樹高16.5cm、根元直径6mm。落葉。冬芽形成。 個体No. ⑱は樹高18.5cm、根元直径4mm。落葉。冬芽形成。 個体No. ⑲は樹高20.0cm、根元直径5mm。黄葉が進む。 4) 令和2年3月11日挿し木個体の生育確認（発根促進剤使用） 鹿沼土に挿し木した10本中1本が落葉して冬芽形成。 赤玉土へ挿し木した10本中2本に展葉あり。 移植地土壤に挿し木した10本は展葉していない。	写真オニ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
	オニヒョウタンボク	種子の 保存 及び 播種、 育苗	11月9日に播種個体の育苗状況確認 1) 平成29年6月29日播種個体の生育確認 No. ③は樹高7cm、根元直径3mm。樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。 2) 平成29年3月14日挿し木個体の生育確認（発根促進剤使用） No. ⑰は樹高25cm、根元直径6mm。樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。 3) 平成31年3月8日挿し木個体の生育確認（発根促進剤使用） 個体No. ②は樹高16.5cm、根元直径6mm。樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。 個体No. ⑱は樹高18.5cm、根元直径4mm。樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。 個体No. ⑲は樹高20.0cm、根元直径5mm。樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。 4) 令和2年3月11日挿し木個体の生育確認（発根促進剤使用） 鹿沼土に挿し木した10本中1本が生存。生育状況に異常なし。 赤玉土へ挿し木した10本中2本が生存。生育状況に異常なし。 移植地土壤に挿し木した10本は生存していない。	写真オニ 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植物	ツルナ キケミ ノ	粉 じん の 防 止	10月20日にナガミノツルキケマン移植先の生育状況確認 平成28年に約2m四方の範囲に3個体を移植したが、現在では30個 体以上に増え、生育範囲も約4m四方に広がっている。 移植した個体は旺盛に開花し、種子も多数見られる。粉じん等の堆 積は見られない。	写真ナガ- 1, 2, 3
	キク タニ ギク	粉 じん の 防 止	10月20日に生育個体の生育状況調査 対象事業実施区域の直近（対象事業実施区域の北側に面した駐車 場脇）に昨年度新たに生育を確認した1個体は今年も開花し始めてお り、生育状況に異常は無く、粉じん等の堆積も見られない。また、 これまで事後調査を行っている対象事業実施区域からやや離れた場 所でも約23個体が開花しており、生育状況に異常は無く、粉じん等 の堆積も見られない。なお、4箇所草刈りが行われた形跡があり、 そこではキクタニギクは確認できなかった。	写真キク- 1, 2, 3
動物	ベニ モン マダ ラ	生 育 基 盤 の 移 植	10月20日に生育個体の管理及び確認 繁茂したスゲ類の除草を行った。	写真ベニ- 1, 2
水象	地下 水位	地下 水位 モ ニ タ リ ン グ	10月30日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と概ね同程度であり、地下水位の低下が見ら れないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと 考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：788.73m(昨年度同月：790.85m) ・調査地点No. 2：743.35m(昨年度同月：743.65m) ・調査地点No. 3：724.87m(昨年度同月：725.20m)	写真チカ- 1, 2
			11月27日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であり、地下水位の低下が見られな いことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考え られるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：788.83m(昨年度同月：789.01m) ・調査地点No. 2：743.40m(昨年度同月：743.43m) ・調査地点No. 3：724.86m(昨年度同月：724.66m)	写真チカ-3

- 公表・公開情報 -

発行	環境保全措置・事後調査実施状況（概要版）10月号
内容	1 クリイロベッコウの生息調査について 2 ベニモンマダラの生育調査について 3 希少猛禽類（ハチクマ・ハイタカ）の定点観察・営巣確認について
方法	ホームページに掲載

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-1
	撮影日	R2.10.12
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個体) 個体No.③ 樹高184cm 根元直径21mm 根元直径が太くなった。生育状 況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-2
	撮影日	R2.10.12
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個体) 個体No.④ 樹高78cm 根元直径12mm 樹高が伸びた。生育状況に異 常は見られない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-3
	撮影日	R2.10.12
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個体) 個体No.⑦ 樹高225cm、株立ち(根元直 径27mm、22mm、20mm) 先端の枝が折れていたが(原 因不明)、生育に影響はないと 思われる。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-4
	撮影日	R2.10.12
	平成28年4月18日播種個体の 生育確認及び管理 個体No.① 樹高45.5cm 根元直径13mm 黄葉始まる。葉の形状からシラ カンバの可能性が高い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-5
	撮影日	R2.10.12
	平成29年4月21日播種個体の 生育確認及び管理 個体No.① 樹高41cm 根元直径15mm 根元直径が太くなった。黄葉始 まる。葉の形状からシラカンバ の可能性が高い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-6
	撮影日	R2.10.12
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理 ポットNo.1~16(生存数68本) 樹高26~42.5cm 根元直径3~5mm 黄葉始まり、冬芽を形成。生育 状況に異常は見られない。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-7
撮影日	R2.10.12
平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理	
ポットNo.17～30(生存数65本) 樹高25.5～40.5cm 根元直径3～5mm	
黄葉始まり、冬芽を形成。生育状況に異常は見られない。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-8
撮影日	R2.11.9
平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理(植樹個体)	
個体No.③ 樹高184cm 根元直径21mm	
樹高と根元直径に変化なし。落葉したが生育状況に異常は見られない。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-9
撮影日	R2.11.9
平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理(植樹個体)	
個体No.④ 樹高78cm 根元直径12mm	
樹高と根元直径に変化なし。落葉したが生育状況に異常は見られない。	


	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-10
	撮影日	R2.11.9
	<p>平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個体)</p> <p>個体No.⑦ 樹高225cm、株立ち(根元直 径27mm、22mm、20mm)</p> <p>樹高と根元直径に変化なし。落 葉したが生育状況に異常は見 られない。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-11
	撮影日	R2.11.9
	<p>平成28年4月18日播種個体の 生育確認及び管理</p> <p>個体No.① 樹高45.5cm 根元直径13mm</p> <p>樹高と根元直径に変化なし。落 葉。葉の形状からシラカンバの 可能性が高い。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-12
	撮影日	R2.11.9
	<p>平成29年4月21日播種個体の 生育確認及び管理</p> <p>個体No.① 樹高41cm 根元直径15mm</p> <p>樹高と根元直径に変化なし。落 葉。葉の形状からシラカンバの 可能性が高い。</p>	






保 全 対象種	ヤエガワカンバ
写 真 番 号	ヤエ-13
撮影日	R2.11.9
平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理	
ポットNo.1~16(生存数68本) 樹高26~42.5cm 根元直径3~5mm	
樹高と根元直径に変化なし。落 葉したが、生育状況に異常は 見られない。	



保 全 対象種	ヤエガワカンバ
写 真 番 号	ヤエ-14
撮影日	R2.11.9
平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理	
ポットNo.17~30(生存数65本) 樹高25.5~40.5cm 根元直径3~5mm	
樹高と根元直径に変化なし。落 葉したが、生育状況に異常は 見られない。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-1
	撮影日	R2.10.12
	平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認(ポット) 個体No.③ 樹高7cm 根元直径3mm 生育状況に異常は見られな い。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-2
	撮影日	R2.10.12
	平成29年3月14日挿し木個体 の育苗状況確認(発根促進剤 使用) 個体No.⑩ 樹高25cm 根元直径6mm 黄葉が始まる。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-3
	撮影日	R2.10.12
	平成31年3月8日挿し木個体 の育苗状況確認(発根促進剤 使用) 個体No.② 樹高16.5cm 根元直径6mm 落葉。冬芽形成。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-4
	撮影日	R2.10.12
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 個体No.⑫(中央) 樹高18.5cm 根元直径4mm 落葉。冬芽形成。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-5
	撮影日	R2.10.12
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 個体No.⑭ 樹高20.0cm 根元直径5mm 黄葉が進む。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-6
	撮影日	R2.10.12
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 鹿沼土への挿し木個体 10本中1本が落葉して冬芽形成。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-7
	撮影日	R2.10.12
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 赤玉土への挿し木個体 10本中2本に展葉あり。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-8
	撮影日	R2.10.12
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 移植地土壌への挿し木個体 展葉していない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-9
	撮影日	R2.11.9
	平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認(ポット) 個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-10
	撮影日	R2.11.9
	平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 個体No.⑰ 樹高25cm、根元直径6mm 樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-11
	撮影日	R2.11.9
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 個体No.② 樹高16.5cm、根元直径6mm 樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-12
	撮影日	R2.11.9
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 個体No.⑫(中央) 樹高18.5cm、根元直径4mm 樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。	



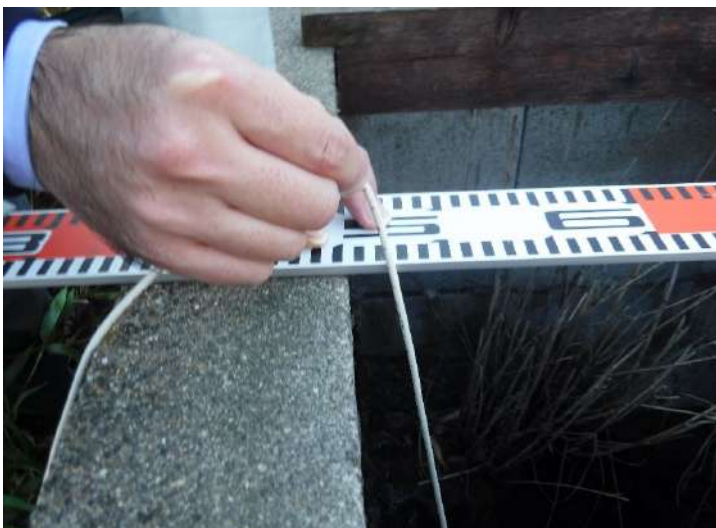
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-13
	撮影日	R2.11.9
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 個体No.⑭ 樹高20.0cm、根元直径5mm 樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-14
	撮影日	R2.11.9
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 鹿沼土への挿し木個体 10本中1本が生存。生育状況に異常なし。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-15
	撮影日	R2.11.9
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 赤玉土への挿し木個体 10本中2本が生存。生育状況に異常なし。	

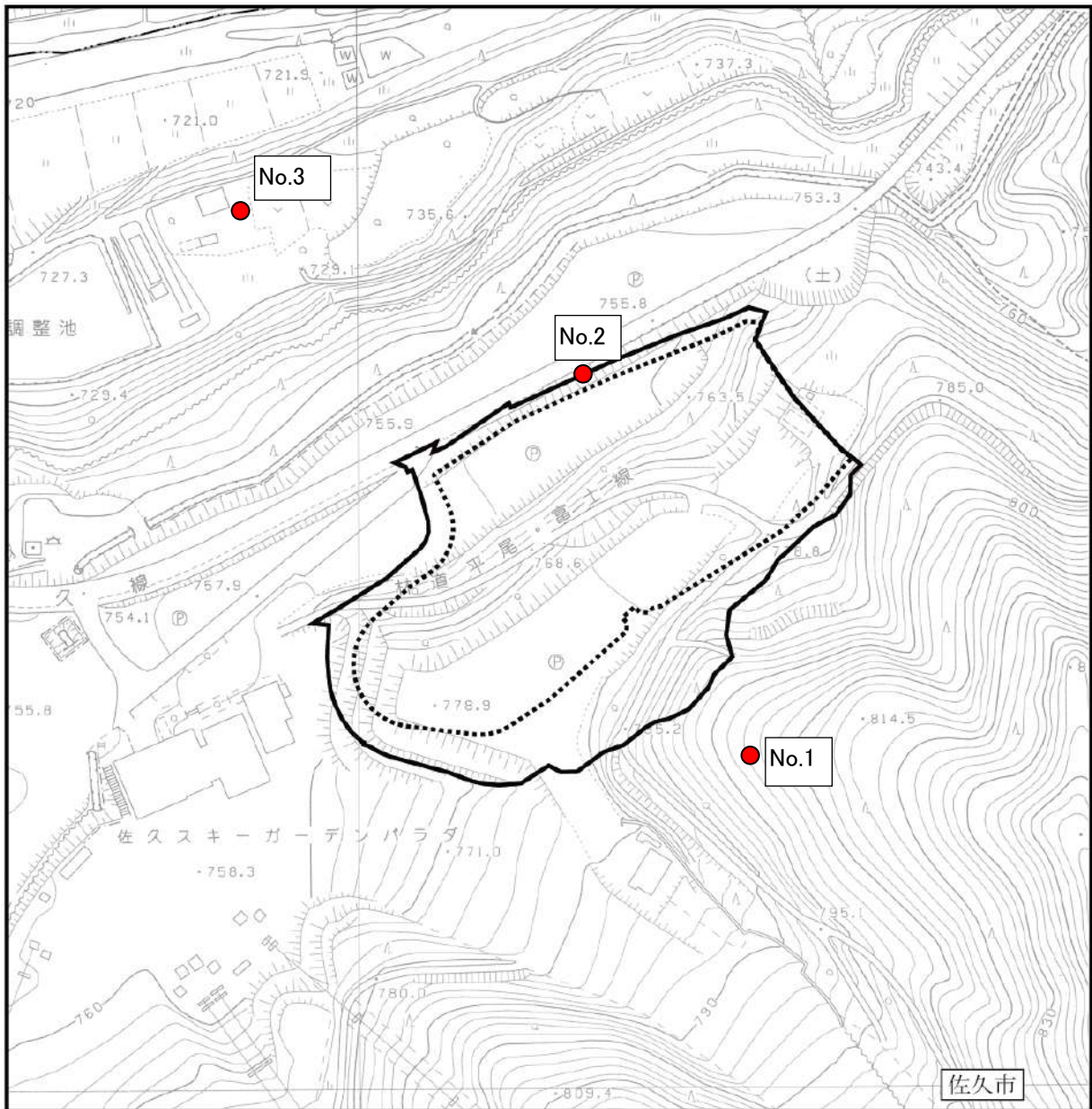
	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-16
	撮影日	R2.11.9
	<p>令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)</p> <p>移植地土壌への挿し木個体生存していない。</p>	

	保全対象種	ナガミノツルキケマン
	写真番号	ナガ-1
	撮影日	R2.10.20
	移植先の生育状況確認 平成28年に約2m四方の範囲に3個体を移植したが、現在では30個体以上に増え、生育範囲も約4m四方に広がっている。	
	保全対象種	ナガミノツルキケマン
	写真番号	ナガ-2
	撮影日	R2.10.20
	移植先の生育状況確認 旺盛に開花しており、生育状況に異常は見られない。粉じん等の堆積も見られない。	
	保全対象種	ナガミノツルキケマン
	写真番号	ナガ-3
	撮影日	R2.10.20
	移植先の生育状況確認 種子も多数見られ、粉じん等の堆積も見られない。	

	保 全 対象種	キクタニギク
	写 真 番 号	キク-1
	撮影日	R2.10.20
	生育個体の生育状況調査 対象事業実施区域の直近(対象事業実施区域の北側に面した駐車場脇)に昨年度新たに生育を確認した1個体は今年も開花し始めており、生育状況に異常は無く、粉じん等の堆積も見られない。	
	保 全 対象種	キクタニギク
	写 真 番 号	キク-2
	撮影日	R2.10.20
	生育個体の生育状況調査 対象事業実施区域外では約23個体が生育し、いずれの個体も生育状況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	キクタニギク
	写 真 番 号	キク-3
	撮影日	R2.10.20
	生育個体の生育状況調査 4箇所草刈りが行われた形跡があり、キクタニギクは確認できなかった。	

	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-1
	撮影日	R2.10.20
<p>生息基盤移殖先の個体等生育管理(除草、外来種駆除)</p> <p>繁茂したスゲ類の除草を行った。</p> <p>作業実施状況</p>		
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-2
	撮影日	R2.10.20
<p>生息基盤移殖先の個体等生育管理(除草、外来種駆除)</p> <p>繁茂したスゲ類の除草を行った。</p> <p>作業完了状況</p>		

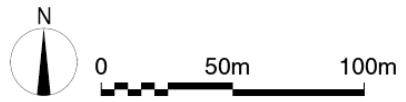
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-1
	撮影日	R2.10.30
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.1)	
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-2
	撮影日	R2.10.30
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.2)	
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-3
	撮影日	R2.11.27
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.3)	



凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 計画施設用地
- : 地下水位調査地点

----- : 市町界





地下水位調査地点


令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】








【措置項目】成木の移植

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月18日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	展葉したが一部の枝が枯れている。キノコにはまだ目立った生長は見られない。					全体的に葉の量は多いが、一部の枝が枯れている。No.4の枝のキノコはキノコ自体が朽ちているように見える。他の枝のキノコには目立った変化は見られない。					
	撮影日:5月11日					撮影日:9月9日					

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.③ 樹高118cm 根元直径16mm 展葉始まる。	個体No.③ 樹高125cm 根元直径17mm 展葉した。	個体No.③ 樹高159cm 根元直径17mm 樹高が伸び、十分に展葉した。	個体No.③ 樹高170cm 根元直径19.5mm 樹高が伸び、根元直径も太くなった。生育状況に異常は見られない。	個体No.③ 樹高184cm 根元直径20mm 樹高が伸び、根元直径も太くなった。生育状況に異常は見られない。	個体No.③ 樹高184cm 根元直径21mm 根元直径が太くなった。生育状況に異常は見られない。	個体No.③ 樹高184cm 根元直径21mm 樹高と根元直径に変化なし。落葉したが生育状況に異常は見られない。				
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日				

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.④ シラカンバの可能性のある個体No.⑤に変えて個体No.④を移植した。 樹高30cm、根元直径11mm 展葉始まる。	個体No.④ 樹高39cm、根元直径12mm 展葉した。	個体No.④ 樹高58cm、根元直径12mm 樹高が伸び、十分に展葉した。	個体No.④ 樹高69cm、根元直径12mm 樹高が伸びた。生育状況に異常は見られない。	個体No.④ 樹高77cm、根元直径12mm 樹高が伸びた。生育状況に異常は見られない。	個体No.④ 樹高78cm、根元直径12mm 樹高が伸びた。生育状況に異常は見られない。	個体No.④ 樹高78cm、根元直径12mm 樹高と根元直径に変化なし。黄葉したが生育状況に異常は見られない。				
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日				








令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】








【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.⑦ 樹高140cm、株立ち(根元直径20mm、18mm、13mm)展葉始まる。	個体No.⑦ 樹高169cm、株立ち(根元直径21mm、19mm、14mm)展葉した。	個体No.⑦ 樹高207cm、株立ち(根元直径25mm、21mm、17mm)樹高が伸び、根元直径も太くなり、十分に展葉した。	個体No.⑦ 樹高220cm、株立ち(根元直径26mm、21mm、20mm)樹高が伸び、根元直径も太くなった。生育状況に異常は見られない。	個体No.⑦ 樹高230cm、株立ち(根元直径26mm、22mm、20mm)樹高が伸び、根元直径も太くなった。生育状況に異常は見られない。	個体No.⑦ 樹高225cm、株立ち(根元直径27mm、22mm、20mm)先端の枝が折れていたが(原因不明)、生育に影響はないと思われる。	個体No.⑦ 樹高225cm、株立ち(根元直径27mm、22mm、20mm)樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。				
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日				

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成28年4月18日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.① 樹高42cm、根元直径12mm展葉始まる。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高42cm、根元直径12mm展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。アブラムシにより一部の葉が枯れたため、殺虫剤を散布。	個体No.① 樹高45.5cm 根元直径13mm 十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高45.5cm 根元直径13mm 下部の葉が黄葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高45.5cm 根元直径13mm 黄葉した下部の葉は落葉し、一部の葉が枯れ始めている。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高45.5cm 根元直径13mm 黄葉始まる。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高45.5cm 根元直径13mm 樹高と根元直径に変化なし。落葉。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。				
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日				








【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成29年4月21日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.① 樹高38cm、根元直径12mm展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高38cm、根元直径12mm展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。アブラムシにより一部の葉が枯れたため、殺虫剤を散布。	個体No.① 樹高41cm、根元直径14mm十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高41cm、根元直径14mm生育状況に異常は見られない。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高41cm、根元直径14mm生育状況に異常は見られない。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高41cm、根元直径15mm黄葉始まる。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高41cm、根元直径15mm樹高と根元直径に変化なし。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。				
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日				

令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】



【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成30年4月10日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		生存数136本。 樹高12cm～27.5cm、根元直径2～4mm 展葉始まる。	生存数135本。 樹高20cm～33cm、根元直径2～5mm 展葉した。	生存数135本。 樹高25cm～39cm、根元直径2～5mm 樹高が伸び、十分に展葉した。	生存数135本。 樹高26cm～42cm、根元直径3～5mm 樹高が伸び、根元直径も太くなった。生育状況に異常は見られない。	生存数133本。 樹高26cm～42.5cm、根元直径3～5mm 樹高が伸びた。生育状況に異常は見られない。	生存数133本。 樹高26cm～42.5cm、根元直径3～5mm 黄葉始まり、冬芽形成。生育状況に異常は見られない。	生存数133本。 樹高25.5cm～42.5cm、根元直径3～5mm 樹高と根元直径に変化なし。落葉したが生育状況に異常は見られない。			
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日			


令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】








【措置項目】成木の移植

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月20日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	樹高は1.7～2.8m。全ての個体で順調に展葉して開花している。一部の個体に結実も見られる。					一部の葉にカビと虫食いが認められるが、全体に生育は良く冬芽形成。個体No.7にはフジの蔓が巻き付いていたため除去した。					
		撮影日:5月11日				撮影日:9月9日					

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成29年6月29日に新たに種子20個をプランターに播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 展葉した。	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 展葉した。	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 展葉した。	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 展葉した。	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 生育状況に異常は見られない。	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 生育状況に異常は見られない。	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 生育状況に異常は見られない。	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 生育状況に異常は見られない。	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。		
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日			


【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成29年3月14日に20本を挿し木し(発根促進剤使用)、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.⑪ 樹高21.5cm、根元直径6mm 開花して展葉した。	個体No.⑪ 樹高22cm、根元直径6mm 展葉した。	個体No.⑪ 樹高25cm、根元直径6mm 展葉した。実が2個あり。	個体No.⑪ 樹高25cm、根元直径6mm 生育状況に異常は見られない。	個体No.⑪ 樹高25cm、根元直径6mm 生育状況に異常は見られない。	個体No.⑪ 樹高25cm、根元直径6mm 黄葉が始まる。	個体No.⑪ 樹高25cm、根元直径6mm 樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。				
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日			








令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】








【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗)										
	個体No.② 樹高14.5cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.② 樹高16cm、根元直径5mm 展葉した。	個体No.② 樹高17cm、根元直径6mm 展葉した。	個体No.② 樹高18cm、根元直径6mm 樹高が伸びた。生育状況に異常は見られない。	個体No.② 樹高18cm、根元直径6mm 生育状況に異常は見られない。	個体No.② 樹高16.5cm、根元直径6mm 落葉。冬芽形成。	個体No.② 樹高16.5cm、根元直径6mm 樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。			
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日			

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗)										
	個体No.⑫(中央) 樹高16.5cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.⑫(中央) 樹高19cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.⑫(中央) 樹高19cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.⑫(中央) 樹高19cm、根元直径4mm 生育状況に異常は見られない。	個体No.⑫(中央) 樹高19cm、根元直径4mm 黄葉が始まる。	個体No.⑫(中央) 樹高18.5cm、根元直径4mm 落葉。冬芽形成。	個体No.⑫(中央) 樹高18.5cm、根元直径4mm 樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。			
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日			








【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗)										
	個体No.⑭ 樹高18cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.⑭ 樹高19cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.⑭ 樹高20cm、根元直径5mm 展葉した。	個体No.⑭ 樹高20cm、根元直径5mm 生育状況に異常は見られない。	個体No.⑭ 樹高20cm、根元直径5mm 黄葉が始まる。	個体No.⑭ 樹高20cm、根元直径5mm 黄葉が進む。	個体No.⑭ 樹高20cm、根元直径5mm 樹高と根元直径に変化なし。落葉したが、生育状況に異常は見られない。			
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日			








令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月11日に30本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(鹿沼土で育苗)											
		10本中8本に展葉あり。	10本中3本に展葉あり。	10本中1本に展葉あり。	10本中1本に展葉あり。	10本中1本に展葉あり。	10本中1本が落葉して冬芽形成。	10本中1本が生存。生育状況に異常なし。			
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日			

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月11日に30本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(赤玉土で育苗)											
		10本中6本に展葉あり。	10本中3本に展葉あり。	10本中2本に展葉あり。	10本中2本に展葉あり。	10本中2本に展葉あり。	10本中2本に展葉あり。	10本中2本が生存。落葉したが、生育状況に異常なし。			
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日			

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月11日に30本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(移植地土壌で育苗)											
		葉の新芽はあるがまだ展葉していない。	展葉していない。	展葉していない。	展葉していない。	展葉していない。	展葉していない。	生存していない。			
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日	撮影日:7月16日	撮影日:8月7日	撮影日:9月9日	撮影日:10月12日	撮影日:11月9日			

◆施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 新クリーンセンター整備スケジュール(案)

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度(令和元年)			令和2年度																														
	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
環境影響評価手続	★ 予測評価、準備書準備		★ 評価書手続		★ 施工状況等報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書															
都市計画決定手続等	★ 準備書公告・縦覧		★ 準備書縦覧		★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続															
施設用地造成工事	★ 地質調査		★ 造成工事費積算・入札準備・契約		★ 入札公告			★ 事業者決定			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事															
施設本体建設工事	★ 事業方式検討調査		★ 事業方式(DBO)決定		★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定												

2. 対象事業の実施状況一覧

年度 回数 報告対象期	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	第1回報告 4月～6月	第2回報告 7月～9月	第3回報告 10月～12月	第4回報告 1月～3月	第5回報告 4月～6月	第6回報告 7月～9月	第7回報告 10月～12月	第8回報告 1月～3月	第9回報告 4月～6月	第10回報告 7月～9月	第11回報告 10月～12月	第12回報告 1月～3月
実施状況	現在、造成工事等については、未着手である。 【都市計画決定手続】平成27年7月8日付けで本事業に係る都市計画が決定。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得に係る税務署事前協議】平成27年8月19日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議を開始。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得関係】平成27年11月26日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。 【敷地造成工事】造成工事費の積算を行い、精査を実施している。	現在、造成工事等については、未着手である。 【敷地造成工事】平成28年3月14日付で入札公告、同3月30日に入札が行われた。残土運搬先について、該当する個人地権者へ説明。一部から了承を得られた。 【施設本体建設工事】平成28年3月14日付で入札公告、参加表明締切を同4月28日に予定している。	平成28年6月6日、敷地造成工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県へ提出した。 【敷地造成工事】6月は準備工として、敷地内の伐採と測量作業を行った。 【施設本体建設工事】平成28年4月28日付で入札参加表明を締切り、同6月27日付で提案書の提出を受付けた。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】敷地の掘削を開始した。管渠工事が完了した。 【施設本体建設工事】平成28年8月9日に開札及び総合評価を実施した。同9月1日、落札者決定について公表した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】掘削が続いている。 【施設本体建設工事】平成28年10月25日建設請負契約を締結。実施設計協議を開始した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良の準備を進め、開始した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良を終え、擁壁本体の施工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の一部が、最上段まで積み上がった。ブロック積工及び法面工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁が完成し、敷地造成工事は、わずかな排水路工事を残すのみとなった。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】実施設計協議の申請について、平成30年1月31日に申請が完了した。公害防止関係、廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係の届出等、監督官公庁への手続きが完了した。平成30年3月27日より山留工事に着手した。
年度 回数 報告対象期	平成30年度				平成31年度(令和元年)				令和2年度			
第13回報告 4月～6月	第14回報告 7月～9月	第15回報告 10月～12月	第16回報告 1月～3月	第17回報告 4月～6月	第18回報告 7月～9月	第19回報告 10月～12月	第20回報告 1月～3月	第21回報告 4月～6月	第22回報告 7月～9月	第23回報告 10月～12月	第24回報告 1月～3月	
実施状況	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】5月より杭工事に着手した。5月末よりごみピット掘削工事に着手した。6月末より工場棟(一部)基礎根切掘削工事に着手した。 【法面保護工事】敷地法面の植生工事に着手した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】杭工事、山留工事、ごみピット掘削工事が完了した。工場棟一階の躯体工事に着手した。 【法面保護工事】9月末に法面保護工事が完了した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】プラント架構の建て方工事に着手した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟基礎工事に着手した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の基礎工事、工場棟の建築工事、プラント機械の設置工事を行っています。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の鉄骨工事、工場棟の建築工事、プラント機械の設置工事を行っています。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の屋根、外壁工事、工場棟の躯体、外壁、設備工事、プラント機械の設置工事を行っています。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の外壁塗装、内装、設備工事、工場棟の内装、設備工事、プラントの電気、電気計装、保温工事、計量棟、洗車棟、車庫棟の外壁、設備工事を行っています。令和2年6月2日から受電を開始し、工場棟機器類の単体試験を行っています。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の外装、内装、設備工事、工場棟の内装、設備工事、プラントの電気、電気計装、保温工事、計量棟、洗車棟、車庫棟の外装、設備工事を行っています。令和2年6月2日から受電を開始し、工場棟機器類の単体試験を行っています。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。また、施設の試運転を開始した。 【施設本体建設工事】各校区とも仕上げ・まとめ作業を随時行っています。計量棟、洗車棟、車庫棟の工事が概ね終了し、構内道路の舗装等の各種外構工事をしています。 【試運転】令和2年8月3日に安全な焼却運転を祈願する「火入れ式」を執り行い、8月17日からごみの一部搬入を開始しました。9月8日	建設地では、施設本体建設工事が竣工した。また、施設の試運転を終了し、本格稼働を開始した。 【施設本体建設工事】各工区の仕上げ・まとめ作業、構内道路舗装等の各種外構工事を完了し、令和2年11月30日を以て全工区が竣工した。 【試運転】令和2年10月27日から29日にかけて施設の引渡性能試験を実施した。令和2年11月30日を以て試運転を終了し、本格稼働を開始した。	

施工状況(10月～11月)

実施月	実施状況	写真
10月	<p>【工場棟・事務所棟工事】 各工区とも仕上げ・まとめ作業を行っています。</p> <p>【その他工事】 外構工事は、駐車場のアスファルト舗装、ライン引き等が完了し、外構各所で植栽工事を行っています。</p> <p>【プラント試運転】 第2期焼却運転後、焼却炉及び各機器の点検を再度行い、10月13日より第3期焼却運転として再び連続調整運転を行い、10月28日、29日に引渡し前の本性能試験を行いました。</p>	
11月	<p>【工場棟・事務所棟工事、その他工事】 各工区とも仕上げ・まとめ作業を完了しました。</p> <p>【プラント試運転】 第3期焼却運転後、再度焼却炉を停止し、焼却炉及び各機器の点検を再度行い、11月16日より第4期焼却運転として再び連続調整運転を行い、試運転を完了しました。</p>	

◆施設建設工事中の施工業者による環境保全措置実施状況

調査年月日：2020年10月1日～11月30日

	調査対象事項	関連項目	環境保全措置の内容	実施状況		添付書類
				10月	11月	
工事関係車両の走行	1 走行時間の分散	大気質、騒音、振動、触れ合い活動の場	工事関係車両の走行が集中しないよう走行の時期・時間の分散に努める。 特に朝の通学時間帯は極力避けるように配慮する。	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
	2 交通規制等の遵守	大気質、騒音、振動、触れ合い活動の場	工事関係車両は、速度や積載量等の交通規制及び指定走行ルート、標示規制等を遵守するよう指導する。	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
	3 アイドリングストップ・エコドライブの励行	大気質	工事関係車両のアイドリングストップ・エコドライブを徹底する。	○	○	写真1
	4 土砂運搬車両等のタイヤ洗浄	大気質	建設地から退出する工事関係車両等の洗車を適宜実施する。	—	—	—
	5 工事事務所出入り口の路面洗浄等	大気質	建設中の構内道路への散水や鉄板の敷設等を行う。	—	—	—
	6 土砂搬出車両荷台のシート掛け	大気質	土砂を搬出入する場合の車両荷台へのシートの敷設を行う。	—	—	—
	7 交通整理員の配置	触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、必要に応じて交通整理員を配置するなど、出入口付近での車両の交錯を防止する。	—	—	—
	8 北パラダを利用する一般車両への配慮	触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、来場者が多くなる土・日曜日の工事関係車両の走行を避けるように努める。	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
建設機械の稼働	1 対策型建設機械の使用(排ガス対策型、低騒音型、低振動型)	大気質、騒音、振動、動物、生態系、触れ合い活動の場	建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の使用や低騒音型・低振動型工法の採用に努める。	○	—	写真2～7 参考資料1(非公開)
	2 建設機械稼働時間の抑制	大気質	建設機械は、アイドリングストップを徹底する。	○	—	写真8
	3 建設機械稼働時間の分散	騒音、振動、触れ合い活動の場	建設機械の稼働台数が集中しないよう工事の時期・時間の分散に努める。	○	—	写真8 参考資料1(非公開)

※実施状況欄 ○：実施 —：実施不要のため未実施

建設機械の稼働	調査対象事項	関連項目	環境保全措置の内容	実施状況		添付書類	
				10月	11月		
土地造成、掘削、樹木の伐採	4	工事区域の仮囲い・遮音壁の設置	大気質、騒音	建設地周辺へ工事用仮囲いを設置する。 必要に応じて対象事業実施区域境界に遮音壁を設置する。	—	—	
	5	工事区域への散水等	大気質、植物、生態系	建設中の構内道路への散水や鉄板の敷設等を行う。 散水を実施することで、粉じんの発生を防止し、周辺に生育する植物への影響を低減する。	—	—	
	1	安全な掘削方法の検討	地形・地質	掘削工法の検討に当たっては、土地の安定性に十分に配慮する。	造成・掘削工事時 実施済み	—	
	2	計画・設計時の配慮	地形・地質	施設計画において、安定計算の実施、マニュアル等に基づく適切な設計、浸食防止排水溝の設置等を行う。	計画時実施済み	—	
	3		地形・地質	切土工事に際し、仮排水路への排水ができるようにし、沈砂池に集水して濁水の土砂を沈殿させてから放水する。	計画時実施済み	—	
	4	工事計画の配慮	触れ合い活動の場	パラダの営業期間中の工事については、事業者と十分な協議を行い、スキーカーへの影響が極力小さくなるよう配慮する。	○	○	参考資料1(非公開)
	5	広範囲の裸地化の抑制	水質	段階的な切盛り工事の実施などの工事計画の検討により一時的な広範囲の裸地化を抑制する。	計画時実施済み	—	
	6	工事区域外からの流入抑制	水質	工事区域の外周に仮設の雨水排水路を設置し、工事区域外からの雨水の流入を抑制し、濁水の発生量を低減する。	—	—	
	7	造成工事の休止	水質	台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成工事を行わない。	造成工事時 実施済み	—	
	8	造成面等からの濁水発生対策	水質	台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成面、仮置き残土等へのシート、土嚢による養生等の対策を講じる。	造成・掘削工事時 実施済み	—	
	9	沈砂池等の設置、維持管理	水質	十分な貯留容量を有する沈砂池を設置し、雨水を一時的に貯留し濁水の土砂を沈殿させてから放流する。	造成・掘削工事時 実施済み	—	
10	雨水排水の濁りの監視	水質	降雨時には速やかに雨水排水の濁りの状況を目視により確認し、濁りが認められた場合には濁水を沈降させ、上澄みを放流する。	造成・掘削工事時 実施済み	—		
11	雨水排水の水温の監視	水質、植物、動物、生態系	排水温度の変化に伴う動植物への影響の可能性の観点から、放流水の水温について監視する。	—	—		

※実施状況欄 ○：実施 ー：実施不要のため未実施

調査対象事項	関連項目	環境保全措置の内容	実施状況		添付書類	
			10月	11月		
土地造成、掘削、樹木の伐採	12	揚水量を低減する掘削工法等の検討	揚水量を低減する効果的な掘削工法等を検討する。	計画時実施済み	—	
	13	止水壁等の設置による水位低下の防止	止水壁を透水性の低い層まで設置する等により地下水水位低下の防止を図る。	計画時実施済み	—	
	14	コナラ林の改変の回避	対象事業実施区域南側のコナラ林の改変を回避する。	計画時実施済み	—	
	15	対象事業実施区域境界の林縁保護	対象事業実施区域境界に適宜防風ネットや遮光ネット等を設置することで、樹木の保全を図る。	—	—	
	16	対象事業実施区域周辺で営巣が確認された場合の工期変更等	対象事業実施区域の近隣で希少猛禽類の営巣が確認された場合は、工事時期や手順、監視等について検討を行う。	—	—	
	17	工事関係者への啓発(動植物等)	工事関係者及び作業員に対して、対象事業実施区域外への不用意な立ち入りや工事用車両の空ぶかしや急発進等による騒音の発生等の抑制などの指導を行う。	○	○	写真9 参考資料1(非公開)
	1	中和処理	アルカリ排水について、環境基準内(pH8.5以下)に中和処理を行った後排水する。	—	—	—
舗装工事・コンクリート工事	2	水素イオン濃度の監視	コンクリート工事に伴うアルカリ排水について、pH計を用いてpHの監視を行う。	—	—	
	1	建設発生土の再利用	掘削土砂については本事業の敷地内や他事業での再利用に努め、残土の発生を抑制する。	造成・掘削工事時実施済み	—	
	2	公共事業等での有効利用	場外搬出する残土については、他の公共事業での有効活用を図り、処分量の低減を図る(受け入れ先は組合で決定)。	造成・掘削工事時実施済み	—	
	3	アスファルト・コンクリート塊、木くず、伐採木等の再生利用	再生利用の促進を図るため、アスファルト・コンクリート塊、木くず・伐採木等は可能な限り資源として再生利用する。	—	—	
	4	現場での分別排出	発生した廃棄物については、可能な限り現場で分別を行い排出する。	—	—	
5	適正な管理(土壌)	自然由来により残土が汚染されている場合もあることから、処分方法に応じた適切な搬出の管理を行う。	計画時実施済み	—		

※実施状況欄 ○:実施 —:実施不要のため未実施

	<p style="text-align: center;">写真1</p> <p>工事関係車両の走行 No.1 走行時間の分散 No.2 交通規制等の遵守 No.3 アイドリングストップ・エコドライブの励行 No.8 北パラダを利用する 一般車両への配慮</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/10/17</p>
	<p style="text-align: center;">写真2</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型) アスファルトフィニッシャー 6.0m</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/10/9</p>
	<p style="text-align: center;">写真3</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型) コンパインドローラー 2t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/10/9</p>

	<p style="text-align: center;">写真4</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>コンバインドローラー 4t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/10/9</p>
	<p style="text-align: center;">写真5</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>バックホ- 0.25m³</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/10/9</p>
	<p style="text-align: center;">写真6</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型)</p> <p>バックホ- 0.45m³</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/10/9</p>



写真7

建設機械の稼働
No.1
対策型建設機械の使用
(排ガス対策型、低騒音型)

モーターグレーダー 3.1m

撮影日 2020/10/9



写真8

建設機械の稼働
No.2
建設機械稼働時間の抑制
No.3
建設機械の時間の分散

撮影日 2020/10/17



写真9

土地造成、掘削、樹木の伐採
No.17
工事関係者への啓発
(動植物等)

撮影日 2020/10/17